



批評家

片岡大右 × 三牧聖子



国際政治学

片岡大右『批評と生きること——「十番目のミューズ」の未来』（晶文社）は、近現代フランスを専門領域としつつ、デヴィッド・グレーバーの翻訳・紹介や幅広いフィールドでの批評活動を行ってきた著者の初の評論集。ウクライナやガザの危機。人間性そのものが危機を迎えているともいわれる今の世界状況を背景に、今日における批評あるいは批判の意義を問い直す本書をめぐり、批評、そして世界の未来を展望する。聞き手は、国際政治学者、三牧聖子氏（同志社大学）が務める。

# 危機の時代における 批判の役割

『批評と生きること』刊行を機に

日時 2024年2月12日(月) 18:00-19:30

場所 同志社大学烏丸キャンパス志高館SK122教室  
およびZoomウェビナー

申込方法 対面参加は事前予約不要。  
ウェビナー参加は以下から事前にご登録ください。  
[https://docs.google.com/forms/d/13VfhgQjcECUegHfblDpEJvM9twTf\\_SC062KwwO-fxXI/](https://docs.google.com/forms/d/13VfhgQjcECUegHfblDpEJvM9twTf_SC062KwwO-fxXI/)

主催 晶文社(担当:安藤 info10@shobunsha.co.jp)

